



松本がて がわしい! づくし

2018年

4月17日[火]～7月16日[月・祝]

- ♥ 開館時間 午前9時～午後5時 [入館は午後4時30分まで]
- ♥ 休館日 毎週月曜日 [ただし4月30日(月・祝)・7月16日(月・祝)は開館し、翌5月1日(火)休館]
- ♥ 観覧料 一般[高校生以上]/500円[300円]、中学生以下は無料
* []内は20名以上の団体割引料金
* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名は無料
- ♥ 主催 栃木市、栃木市教育委員会、とぎ蔵の街美術館
- ♥ 後援 朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、栃木ケーブルテレビ、株式会社とぎテレビ、株式会社栃木放送

とぎ蔵の街美術館 〒328-0015 栃木県栃木市万町3番23号
Tochigi Kuranomachi Museum of Art TEL: 0282-20-8228 FAX: 0282-20-8227





《ホームとモニーの12ヶ月 4月バイモ》
昭和50年(1975)頃 松本かつぢ資料館蔵



《水ぬるむ》
昭和26年(1951) 松本かつぢ資料館蔵



《南方十字星》
昭和6年(1931) 弥生美術館蔵

松本かつぢ(1904~86)は、抒情画家・漫画家・童画家・グッズクリエイターとして多彩な才能を発揮したアーティストです。少女雑誌文化が花開いた昭和の初め、少女たちの憧れを誘い、中原淳一と人気を二分しました。栃本市ゆかりの作家、吉屋信子(1896~1973)の著作の装丁、挿画を手がけていることでも知られます。昭和13年(1938)連載開始の「くるくるクルマちゃん」は少女漫画の先駆けの作品で、次々とグッズ化され、キャラクターグッズの元祖ともなりました。松本かつぢの生み出した作品の数々は、今に続く日本の「かわいい」文化に、なくてはならないものと言えるでしょう。「かわいい!」があふれる展覧会で、松本かつぢの魅力をご紹介します。



《チンパンクンのぼうけん》
昭和38年(1963) 松本かつぢ資料館蔵



《ケティーお嬢さん》
昭和28~29年(1953~54) 松本かつぢ資料館蔵

関連イベント

♥講演会

「松本かつぢの魅力一人・作品・思い出」
日時：5月12日(土)午後2時~(90分程度)
講師：宇津原充地栄氏(松本かつぢ三女・松本かつぢ資料館代表)

内田静枝氏(弥生美術館学芸員)

会場：とちぎ蔵の街観光館 2階多目的ホール
定員：60名(聴講無料 当日受付先着順)

♥松本かつぢ作品によるおはなし会

松本かつぢが挿絵を手がけた「ふしぎの国のアリス」と「一寸法師」のお話を、挿絵・語り・音楽でお楽しみください。小さいお子様から大人の方までご参加いただけます。

日時：6月16日(土)午前11時~(30分程度)

講師：柳沢"マヤ"麻千代氏
(バーカッションスト・ドラマー・シンガー)
いしいあや氏(ニジノ絵本屋代表)

会場：とちぎ蔵の街美術館 2階展示室内

定員：20名(事前申込先着順)

美術館まで電話でお申し込みください。(4月3日(火)より受付開始)

♥担当学芸員によるギャラリートーク

日時：4月22日(日)、5月26日(土)、6月30日(土)
いずれも午後2時~(40分程度)

観覧券をお求めのうえ、美術館受付にお集まりください。

栃木図書館との連携企画

栃木図書館 1階(栃本市旭町12-2)にて特集展示「カワイイ大図鑑」を行います。

期間：4月7日(土)~5月31日(木)
(5月4日(金・祝)を除く毎週金曜休館)

開館時間：午前9時~午後7時30分

【交通案内】

- 電車=JR両毛線栃木駅、東武日光線栃木駅から徒歩15分
- バス=栃木駅より市街地北部循環線(東回り)等観光協会前下車、徒歩3分
- 車=東北自動車道、栃木ICから10分
- 駐車場=コエド市場南、大通り沿いの「蔵の街第1駐車場」をご利用ください。

とちぎ蔵の街美術館

〒328-0015 栃木県栃木市万町3番23号

Tochigi Kuranomachi Museum of Art TEL:0282-20-8228 FAX:0282-20-8227



松本かつぢ かわいい! づくし

表面左上から
《くるみちゃんサーカス》昭和28年(1953)
《こびとくつやさん》昭和36年(1961)
《悲しき草笛》昭和27~28年(1952~53)
《少女の横顔》
《ふしぎの国のアリス》昭和35年(1960)
すべて部分/松本かつぢ資料館蔵
©松本かつぢ

